

目 次

第1部／報告

食料問題とコメの転作政策	並木正吉	1
はじめに		1
1. 世界の食料事情		2
(1) おおづかみな現状		2
(2) 歴史のなかから		4
2. 食生活の動向		9
(1) 日本型食生活の再評価		9
(2) 加工食品の比率の増大		13
3. 消費と生産の方向のすれちがい		14
(1) ミカンと牛乳の場合		14
(2) コメの場合		15
4. 米の生産調整——水田の利用度を高めるために——		17
(1) 施策のあらまし		17
(2) 主な問題		19
(3) 解決の方向		24
5. 自立経営農家と第2種兼業農家		27
(1) 所得均衡思想の登場		27
(2) 第2種兼業農家の再評価		29
(3) 自立経営農家の推移		30
6. 土地問題とむらづくり		31

(1) 土地問題	31
(2) 農地流動化の動き	33
参考付表	37

第2部/座談会

日本農業とむらづくり	40
------------	----

出席者 福武直 並木正吉
 中根千枝 堀越久甫
 司会 湯沢雅彦

I 戦前の日本人はどういうものを食べていたか	41
1) はじめに	41
2) コメはぜいたく品	42
3) お粗末なおかず	44
4) 貧しい食生活の伝統	45
5) 戦後の大きな転換	48
6) コメを飼料にできないわけ	50
II 戦後の農家の変わりよう	53
1) 食卓も洋風化	53
2) 自給率の低さが問題	55
3) 食べものの安全保障	56
4) 米作の条件整備	58
III 日本農業の複雑さ	60
1) なぜ予測がちがったか	60
2) 本当の農家は減っている	62
3) 政策対象としての農家	64
IV むらのまとまりはどうなったか	66
1) 必要なコミュニティづくり	66
2) 結びつきは共同幻想	69
3) 企業栄えてむら亡ぶ	72
4) 自動車もくらしを変えた	73
5) 日本人のまとまりの特色	74
6) ヨーロッパの食料防衛策	77
7) 土地に対する考え方	79
8) コミュニティとしての農村	82
9) 農村の高齢者問題	84
V 新しいむらづくりのゆくえ	86
1) 営農組合の芽生え	86
2) 兼業農家はどうなるか	87
3) 米価と農機具代金がカギ	88